

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成 24 年 10 月 18 日 (2012.10.18)

【公開番号】特開 2009-209934 (P2009-209934A)
 【公開日】平成 21 年 9 月 17 日 (2009.9.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-037
 【出願番号】特願 2009-43296 (P2009-43296)
 【国際特許分類】

F 0 2 C 9/16 (2006.01)

【 F I 】

F 0 2 C 9/16 A

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 9 月 3 日 (2012.9.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

バルブアセンブリ (1 0 4) であって、
軸線を有する本体 (1 2 0) であって前記軸線が該本体の中心を通る本体 (1 2 0) と、
前記本体 (1 2 0) 内で支持され且つ該本体を通して延びる流管 (1 2 2) であって、前
記本体と前記流管との間に配置された金属薄箔の成型部品により支持される流管 (1 2 2
) と、
前記軸線と垂直な回転軸 (1 3 6) を有する前記流管 (1 2 2) 内に配置され且つ該流管
を通して延び、該流管に対して回転するように取り付けられたバルブ (1 3 4) と、
前記本体 (1 2 0) 内に配置され、2 つの離間したピストンロッド (1 5 0、1 6 4) に
よって前記回転軸 (1 3 6) の端部に機械的に取り付けられたピストン (1 4 2) と、
を含み、
前記ピストンと前記 2 つのピストンロッドは、前記軸線と並行な直線的な動作のために取
り付けられ、
前記回転軸は、前記軸線及び前記回転軸と平行となり且つ該軸線と前記 2 つのピストンロ
ッドを通過する平面からオフセットされている
ことを特徴とする、バルブアセンブリ (1 0 4) 。

【請求項 2】

前記ピストンロッド (1 5 0、1 6 4) それぞれの一端に配置されたピストンロッドクレ
ビス (1 5 2、1 6 6) をさらに含む、請求項 1 に記載のバルブアセンブリ (1 0 4) 。

【請求項 3】

前記ピストンロッド (1 5 0、1 6 4) それぞれと前記回転軸 (1 3 6) の間に配置され
たリンクアーム (1 5 4、1 6 8) をさらに含む、請求項 2 に記載のバルブアセンブリ (
1 0 4) 。

【請求項 4】

前記回転軸 (1 3 6) の各端部が該各端部から延びる回転軸クランクアーム (1 5 8、1
7 0) を有しており、前記リンクアーム (1 5 4、1 6 8) それぞれが対応する前記ピス
トンロッドクレビス (1 5 2、1 6 6) と前記回転軸クランクアーム (1 5 8、1 7 0)
の間に延在する、請求項 3 に記載のバルブアセンブリ (1 0 4) 。

【請求項 5】

前記ピストンロッド（１５０）に取り付けられた、前記ピストン（１４２）の位置を検出するセンサ（１７６）をさらに含む、請求項４に記載のバルブアセンブリ（１０４）。

【請求項 ６】

前記本体（１２０）と前記ピストン（１４２）の間に配置された作動キャビティ（１４８）をさらに含む、請求項 １ 乃至 ７ のいずれか １ 項に記載のバルブアセンブリ（１０４）。

【請求項 ７】

前記本体（１２０）に取り付けられた、前記作動キャビティ（１４８）と流体連通するポート（１４４）をさらに含む、請求項 ６ に記載のバルブアセンブリ（１０４）。